

『グリーンスローモビリティシンポジウム（2019.11.1 福岡）』で寄せられた質問に対する回答

| 項目 | 要望内容 | 回答 |
|------------------------|--|--|
| 法整備・環境整備・ 他機関との連携 | 国交省が考えるグリスロの方向性、国交省として何をしていくのかが、深く理解できなかった。（今回の御講演では、地域が課題を見出し、企業と連携して、実証実験を実施したように理解しましたが、国交省の役割は？） | 地域の交通のあり方については、地域がニーズを把握し、モビリティを選択し導入することが基本です。 国土交通省では、シンポジウムの開催等による事例の周知や実証調査支援事業の実施等により、グリーンスローモビリティを必要とする地域への情報提供や導入の支援を行っています。 |
| 費用面に関する問い合わせ | 過疎地での採算の取り方をどうするか（導入に係る費用をどうペイするか） | 過疎地等での採算確保（導入に係る費用の償還）は、地域公共交通の共通課題であり、グリーンスローモビリティにおいても同様の課題と認識しています。ただし、グリーンスローモビリティには、例えば給油が不要で家庭用コンセントで充電できること、一般車両に比べ構造がシンプルで部品も少ないため故障が少ないなど、経費削減に優位な面があります。 |
| 車両の機能面、メンテナンスに関する問い合わせ | 山へ登る道の傾斜や、山の標高等に対する、グリーンスローモビリティ車両の性能を知りたい。 | ご質問の緒元は車両（形式）によって異なるため、詳細についてはメーカーに直接お問い合わせください。 ただし、坂道については、一般車両が走行可能な傾斜であれば、グリーンスローモビリティでも十分走行可能です。 |
| | （災害の時など）充電はどのようにしているのか？ | 充電は家庭用コンセント（AC100V または AC200V）で可能です。災害時においても、これらが使用可能なコンセントがあれば充電可能です。 |
| | 自動運転が実現しているのを始めて知った。どうやってやるのか？ | 現在、全国各地で多様な主体により自動運転の実証運行が進められており、ゴルフカートタイプの車両による自動運転実証運行も進められています。自動運転の方法は一概に説明できませんが、誘導方法には電磁誘導線によるものやGPS、3D-LIDARによるものなどがあります。 なお、国の事業の対象となるグリーンスローモビリティとしては手動運転のみとなります。 |

| 項目 | 要望内容 | 回答 |
|---------------------|--|--|
| | 軽自動車との違いは？ | <p>グリーンスローモビリティは、一般車両と同様に、道路運送車両法により車両寸法等に応じて、軽自動車、小型自動車、普通自動車に分類され、自動車税等の納付や車検が必要になります。</p> <p>なお、グリーンスローモビリティは最高速度 20 km未満であることから、道路運送車両の保安基準が一部緩和されています。</p> |
| 安全面に関する意見 や問い合わせ | 実際に事故等、危険なことはなかったのか？ | これまでの国土交通省の実証運行においては、事故は発生していません。 |
| | ベルトは必要なのでは？ | グリーンスローモビリティは最高速度 20 km未満であることから、道路運送車両の保安基準による「座席ベルト等」の装着義務が緩和され、座席ベルトが標準装備されていませんが、車種によっては座席ベルトの装備は可能です。 |
| | 実際、安全性は大丈夫か？本当にお年寄りでも運転できるのか？ | 最高速度が 20 km未満であることから、高齢者も運転しやすく、交通事故が生じるリスクは低減すると考えます。一方で、保安基準が一部免除されることから車両単体の安全性は一般車両より低く、低速走行でもあることから、交通量の多い道路の通行は避けるなど、走行環境に十分配慮する必要があります。また、グリーンスローモビリティを運転される方には、運転操作、低速車両で安全に運転していただくための知識や技術等を取得してもらうため、事前にメーカー等による安全運転講習を受講していただく必要があります。 |
| 運用に関する意見や 問い合わせ | 日常利用するために、ハードルとなるのが天候ではないかと思います。悪天候の場合、どのような対応をしているのか。 | 悪天候の場合は、透明なシートを下げることで雨、風、雪を避けることができます。雪道では、一般車両と同様に雪用タイヤを装着して走行することが可能です。ただし、警報等が発令されるような悪天候時には、通常の公共交通と同様に運行基準に基づいた対応が必要と考えます。 |
| その他 | G S Mの実証調査事業（国交省単独）は、R2 年度も実施されるのでしょうか。 | R2 年度の実施に向け現在、国土交通省が概算要求中です。 |

| 項目 | 要望内容 | 回答 |
|----|-----------------------------|---|
| | 中山間地の導入事例が知りたい。そもそも導入可能なのか。 | 国土交通省単独の実証調査事業では、岡山県備前市での事例が該当します。ただし、備前市の事例は、特定の集落内でバス停や主要施設まで運行するものです。グリーンスローモビリティは低速であるため、点在した集落や中心部を連絡する距離のある運行には適さないことが考えられます。 |
| | アサヒタクシー様へ 他の地域への転用は可能ですか？ | 既定の制度・基準・手続き等に基づき、一般乗用旅客自動車運送事業を行っており、特殊な事情がない限り、他地域での運行は可能と考えます。詳細は各地方運輸局にお問い合わせください。 |

【開会前に映していたムービー紹介】

- ・ いわき市 <https://www.youtube.com/watch?v=9mb6c4O4IUw>
- ・ 社会福祉法人みずうみ https://www.youtube.com/watch?v=W_rmJbgKCE4
- ・ 一般社団法人最先端田舎中津川 <https://www.youtube.com/watch?v=EDnvounBPBI>
- ・ 輪島商工会議所 <https://www.youtube.com/watch?v=KUQTsqh4uOk>
- ・ 輪島商工会議所 <https://www.youtube.com/watch?v=uY0TfQ7M0Os>
- ・ アサヒタクシー株式会社 https://www.youtube.com/watch?v=okbMQO_D6cA